

第2章 里山林の価値

1 景観としての価値

(1) 林内の大きな空間

見通しのよい林内は四季にそれぞれ独自の季観を示します。ところが、放置された雑木林はササが茂って見通しが悪くなります。こうした森林はうっとおしく感じます。



見通しの良い雑木林



ササの茂った見通しの悪い雑木林



見通しの良い雑木林の中で自然観察

(2) 林内の多様な空間

小さな雑木林単位で伐採、萌芽枝の整理（もやかき）、間伐、落葉掻き、下草刈り、径路の整備などを行ないます。整備できた林内はバランスが取れた一種の庭園的な景観となります。



バランスのとれた林内空間